

暮らしの安全・安心をまもりたい ～夢をかなえて活躍する先輩たち～

大地震などの大きな災害の際に、テレビのニュース番組で被災地の人達のために活動する消防士の姿を見たときに「自分もこんなふうに変な状況にある人達を助ける仕事がしたい」と思ったことが、私が消防士を目指したきっかけです。火災や災害から人々を助ける仕事は、非常時からの救出だけでなく、人々のその後の生活や人生にも大きな影響を与える大事な仕事なので責任感を持って取り組みたいと思います。

東海消防署 救助隊員 伊藤 優太 (令和2年4月入所)



高校生の時に東日本大震災を経験し、災害で活躍する消防士の姿を見て、私も将来消防士として働きたいと思いました。様々な現場で直接人を助けることができ、とてもやりがいを感じられる仕事です。これからも日々訓練を行い、市村民に信頼される消防士になれるよう日々邁進していきたいです。

笹野消防署 特別救助隊員 黒澤 一祥 (令和3年4月入所)



救急医療の最前線で傷病者に処置を施す救急救命士に憧れを持ち、消防士を志しました。まだまだ自分の未熟さを痛感する日々ですが、親しみやすい女性隊員を目指し、消防長の掲げる方針「住民ファースト」のもと、救急医療がひっ迫するなかでも地域住民に寄り添った丁寧な接遇を心掛けたいです。

東海消防署 救急救命士 後藤 有稀 (令和4年4月入所)

